

保護者の理解が子どもを守る

わが子を守る手段として
安全なネット環境を提供するのは
周りにいる大人の責任です。

子どもたちの未来に不可欠なインターネットは多くの有益な情報が提供され、便利に活用できるというプラス面があります。しかし、一部に心身が未発達な子どもたちが閲覧するには望ましくない情報もあり、保護者の目の届かないところでそれらの有害情報を「簡単に閲覧する」「個人情報を書き込む」また、「勝手に利用登録する」などして、犯罪被害やトラブルに巻き込まれるケースが毎年多く発生しています。そこで、子どもたちのネット環境を安全なものにすることを目的に「**青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律（青少年インターネット環境整備法）**」が施行されました。この法律では、携帯電話事業者をはじめとするインターネット関係事業者に義務を課すとともに、社会全体で子どもたちを有害情報から守る取組を求めています。

ICT時代の子どもたちを守るために、インターネットを利用する上で知っておきたい「**3つのポイント**」をしっかりと理解し、健全なネット環境を築いていきましょう。

安全にインターネットを使うための3つのポイント



情報モラルの厳守



フィルタリングの活用

家庭でのルールづくり

※情報モラル：情報社会において、トラブルなどに巻き込まれないように、また、知らないうちにトラブルを起こしていたということにならないように、適切な活動を行うための基本となる考え方や態度のこと。

フィルタリングの活用

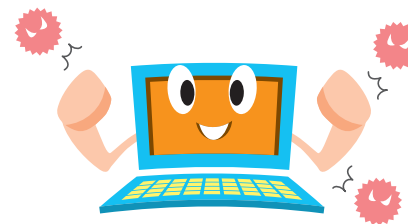
有害情報が含まれるサイトへの
接続をしっかりと防止!

● フィルタリングとは

子どもに見せるのが好ましくないネット上の有害サイトを一定の基準で判別し、「出会い系サイト」や「アダルトサイト」、「暴力的な表現のあるサイト」他の閲覧を制限するサービスです。フィルタリングを付けていないと、これらのサイトもすべて閲覧可能になり、子どものネット利用が無防備になりかねません。

● 目的に応じて制限

フィルタリングは、子どもの「年齢」や「各家庭の方針」に合わせて、表示を禁止したいサイトの種類を選ぶことができます。子どもの能力や利用目的に応じた環境を設定しましょう。



子どもの年齢や成長段階に応じた設定を

パソコンでは細かなフィルタリング設定ができますが、携帯電話各社等でも、さまざまなフィルタリングサービスを無料で提供しています。フィルタリングには、接続していいサイトを設定する「**ホワイトリスト方式**」や、接続できないサイトを設定する「**ブラックリスト方式**」をはじめ、「**時間帯による接続制限**」などがあります。

※「保護者による条件設定」など、子どもの年齢や使い方に合わせたカスタマイズ（設定の変更）ができるサービスもあります。詳しくは携帯電話各社等にお問い合わせください。

■ 2つのフィルタリング方式

ホワイトリスト方式	ブラックリスト方式
一定の基準を満たしたサイトのみにアクセス可能で、それ以外のサイトの閲覧を制限	特定のカテゴリー（出会い系、アダルト、ギャンブル等）に属するサイトの閲覧を制限

フィルタリングも利用のルールも「成長に合わせる」が鍵!

みんなでするパソコンと個別に使う携帯電話。フィルタリング設定やルールづくりはどちらにも不可欠ですが、携帯電話の使用環境は、子どもの経験や理解度・必要性に合わせて整えてあげることが大切です。それは、大人と同じ食事に至るまでの離乳食のステップと同じ。フィルタリングは一気に外さなくても、カスタマイズして徐々に緩めることができます。ネットの健全かつ有効な活用ができる18歳を目標に、少しずつ利用の幅を広げてあげましょう。

■ もっとグッドネットホームページ（安心ネットづくり促進協議会）

セミナーや教材のご紹介、「ケータイスキルチェック&ルールづくりナビ」他、ネットの健全活用のための普及啓発ポータルサイトです。



PC用 <http://good-net.jp/>
携帯用 <http://good-net.jp/mobile/>



家庭でのルールづくり

子どもの健全な成長を守るため、
保護者が利用状況をきっちり把握!

● 利用時間を話し合う

携帯電話は、使い方によっては「**睡眠不足**」など生活のリズムを乱す原因になります。健全な心と体を育み、携帯依存を回避するためにも利用時間を話し合いましょう。

● 利用料金・場所を把握

長話やダウンロードなどで「**高額請求**」とならないよう、携帯料金について話し合いましょう。フィルタリングだけに頼らず、リビングなど親の目の届く場所で利用させるなど、トラブルを回避する対策を考えておきましょう。

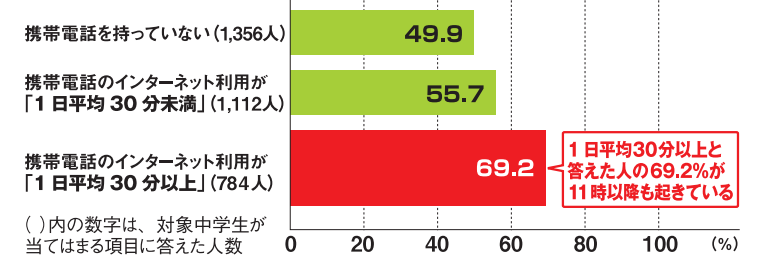


携帯電話をよく使う子どもたちには、生活面での影響も見られます

調査によれば、携帯電話のインターネット利用時間が長い子どもたちは、午後11時以降も起きている割合が高い傾向にあります。

■ 携帯電話でのインターネット利用時間と午後11時以降も起きている割合

(対象：全国の中学2年生3,252人)



資料：文部科学省「子どもの携帯電話等の利用に関する調査」(平成20年)

ルールを決めて、安心ネット環境づくり。

子どものインターネット使用状況や家庭の環境に合わせ、家族のなかで無理のないルールづくりを考えてみませんか。(下記の具体例も参考に)そして、子どもたちが安心してインターネットを使えるように、学校や地域ぐるみで適切な利用方法の啓発活動を広げていきましょう。

- 利用目的、使い方を決める
- 個人情報や悪口を書き込まない
- 利用料金・時間を決める
- 迷惑メールは何もせず無視する
- フィルタリングを設定する
- 困ったときは必ず親に相談する
- 夜の使用時間を決める
- 何かをしながらの携帯はやめる
- 携帯利用は学校の規則を守る
- ルール違反をしたら使わせない